

EINスーパーウッド注意事項

EINスーパーウッド (ESW)は、樹脂と木粉との合成木材であることから、天然木材とは違った特性がありますので、設計・施工に当たりましては、以下の事柄に注意して行って下さい。

1 設計時の注意点

■ 伸びに対する事項 (目地、固定穴)

- ESWは熱と吸水により若干ですが膨張収縮します。
- 材料を並べる場合は、床材の場合幅方向で5mm程度、壁材の場合3mm程度の目地を取って下さい。長手方向は3mm/m程度目地を取って下さい。
- 建物など他の構造物への突き合せも同様です。
- ルーバー、梁などに使用する場合、部材の膨張収縮を吸収できる構造として下さい。(ボルト穴を長穴にするなど)



目地状況



長穴金物



目地セット

■ 固定方法

- 床材、壁材等に使用する場合、必ず根太、胴縁を用いて、その上に材を取り付けて下さい。コンクリート面に直接板材を貼りつけることは避けて下さい。

■ 張り出し長さ

- ESWは端部を必ず固定しできるだけ張り出し量を少なくして下さい。

■ 長スパンでの使用

- ルーバー等長スパンで使用の場合は、長期でクリープによるたわみが発生します。専用補強材等により、たわみを抑える仕様でお使い下さい。
- 長スパンで使用する場合は、3点以上で固定をして下さい。2点で固定するより、たわみが抑えられます。

■ 表面劣化

- 合成木材の特性として、経年変化により表面が劣化し、練り込まれた顔料が露出する事で、衣服などに付着する恐れがあります。テーブル・ベンチなど直接衣服などが触れる箇所には、専用塗料による塗装仕上げとして下さい。

■ 表面温度

- 夏場など直射日光により高温になる場合があります。素足での歩行はお控え下さい。

2 施工時の注意点

【1】保管について

■ 保管

- ESWは立て掛けず、平置きして下さい。変形する恐れがあります。
- 一時保管する場合は雨に直接当たらないように、養生シート等でカバーして下さい。
- ハンマー等硬いものを落としたりしないで下さい。割れ欠けの原因になります。
- 木口を硬い地面等に置く場合には、衝撃に注意して下さい。



EINスーパーウッド注意事項

【2】加工について

■ 加工方法

- ESWの加工は、切断、穴あけ、面取り、切削等従来の木材と変わらない工具で可能です。
- 切り屑は樹脂を含む為、土に戻りません。刷子集めて適正に処理して下さい。
- 断面を長さ方向に切断しますと変形することがあります。できるだけ、避けて下さい。

【3】施工について

■ ビス打ち

- ビス打ちする場合はあらかじめ下穴を空けて施工して下さい。下穴はビス径よりも大きめにして下さい。
- ビスはステンレス製をお使い下さい。
- ビスを木口近くに打つと木口に向かってヒビが入る恐れがあります。ご注意下さい。
- 電動ドライバーの場合は、トルクを弱い力に設定してビス打ちを行って下さい。
- 締めすぎて空回りした場合には、ビスを1サイズ大きくして締め直して下さい。



下穴開け



ビス打ち

■ 柱埋め込み方法 (緩衝材の使用)

- ESWを柱などに使用しコンクリートに埋め込む場合、膨張によりコンクリートを破壊する恐れがあります。
- そのため埋め込み部分に樹脂発泡シートを巻くか、あるいはベースプレート式として、直接コンクリートに触れないようにして下さい。



樹脂発泡シート



基礎破損

■ 空気穴、水抜き穴について

- 中空の材料の場合、雨水や結露により水が溜りますので、下面にφ5~8mmの水抜き穴を設けて下さい。また、キャップ等により密閉する場合も空気穴が必要です。

■ キャップ取り付け

- 小口のキャップは、若干大きめになっています。取り付け後、カンナ、トリマーなどにより面取り調整して下さい。
- キャップの取付は、必ず専用ボンド アイン・スーパー ボンドかビスなどにより強固に接着して下さい。



キャップ打込み

■ ボンド接着

- ESW同士を接着する場合は専用ボンド アイン・スーパー ボンドを使用して下さい。

■ 塗装

- ESWに塗装する場合は専用塗料 アイン・スーパー アクアを使用して下さい。

※ その他、設計及び施工等でご不明な点がございましたら、お問い合わせ下さい。